

2018年3月20日

横浜美術館コレクション展

2018年3月24日(土)ー2018年6月24日(日)

「コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より」

「人を描くー日本の絵画を中心に」

2018年3月24日(土)開催の横浜美術館コレクション展は、2つのセクションで構成します。

「コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より」では、2010年代の収集作品の中から初展示となる作品を中心に、近年とくに厚みを増した近現代日本美術の作品群を、4つのテーマでご紹介します。写真展示室では、新収蔵作品から、土田ヒロミの広島をめぐる3つのシリーズと、石川直樹の「ARCHIPELAGO」シリーズを特集します。

横浜美術館は、横浜市の収集方針に則って市に候補作品を提案し、毎年の美術資料収集審査委員会を経て、新たな作品を収蔵しています。コレクターや市民の方々からの収集のほか、当館企画展のために制作された作品を作家から収集することもあります。また、学芸員の継続的な作家研究が、まとまった作品群の収集に結びつくこともあります。優れた作品を収集し、さまざまな切り口でご紹介し、適切な環境で守り未来へとつなぐことは、美術館の大切な使命です。

また、「人を描くー日本の絵画を中心に」では、近現代の多様な人物表現をご紹介します。

「人」は、古今東西の芸術家を魅了してやまないモチーフです。企画展「ヌード NUDEー英国テート・コレクションより」でもご覧いただくように、こと裸体画は西洋の芸術家たちをとらえ、いつの時代も永遠のテーマであり続けてきました。日本では、1895年に「裸体画論争」を巻き起こした黒田清輝の《朝妝》を嚆矢に、日本の風土や精神性に即した裸体表現との格闘が始まりました。そして今日もなお多くの画家が、この主題に挑み続けています。本セクションでは裸体画のほか、特定の人物の相貌や特徴を描いた肖像画や、見る人の心を映す鏡ともなるアノニマスな肖像、また、近代の日本画家たちが理想美を求めて取り組んだ歴史人物画などのテーマにより、作品を展示します。作品に込められた、画家たちの人間観や歴史観を感じとっていただければ幸いです。

横浜美術館の誇るコレクションの数々を、ぜひご堪能ください。

横浜美術館



小倉遊亀《良夜》1957年
紙本着色 140.0×97.0cm



石川直樹《ARCHIPELAGO 沖縄本島》2009年
発色現像方式印画 48.0×59.0cm 作家寄贈



吉田亜世美《LINEAR COMPOSITION L25-B.B.M.》
1984年 多色木版 59.9×59.9cm 作家寄贈



奈良美智《春少女》2012年
アクリル絵画、カンヴァス
227.0×182.0cm ©Yoshitomo Nara



荒井寛方《一邇上人》1915年
絹本着色、裏箔、軸 239.0×92.6cm



中島清之《郁代》1934年
絹本着色、軸 125.0×41.5cm
中島洋光氏寄贈

展示構成-----

■コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より

1. 横浜から世界へ（香山、フジタ、長谷川潔）
2. 原三溪とゆかりの画家
3. 現代版画の多様な広がり
4. 同時代アーティストの作品：日常と非日常の境にリアルを探る

[写真展示室]

- 作家特集1 土田ヒロミ「ヒロシマ」シリーズより
 作家特集2 石川直樹「ARCHIPELAGO」より

■人を描くー日本の絵画を中心に

1. 裸体画
2. アノニマスな肖像
ー私たちの心を映す人のかたち
3. 人形（ひとがた）
4. 肖像画
5. 歴史人物画
6. 物語・説話の人物

展示会のみどころ-----

○近現代日本美術を中心に、初展示作品が多数！

1万2千点を超える所蔵作品の中から、近年特に充実が増した作品の傾向や作品群の深まりについて、初展示作品を中心に構成します。

○企画展と連動！人物表現の多様性を探る

同時開催の企画展「ヌード NUDE —英国テート・コレクションより」に関連し、日本における裸体表現や肖像、歴史人物画など人物表現へのアプローチを紹介します。

関連イベント-----

○スペシャルトーク「佐々木豊、ヌードを語る」

登壇：佐々木豊（画家） 聞き手：横浜美術館学芸員、エドゥケーター（教育担当）
 日時：2018年4月27日（金）14：00～15：00 会場：横浜美術館 円形フォーラム
 定員：120名 ※当日12：00より総合案内で整理券配布（お一人様1枚、先着順）
 参加費：無料（当日有効の観覧券と整理券が必要です）

○アーティストトーク 登壇：石川直樹（写真家） 聞き手：横浜美術館学芸員

日時：2018年5月20日（日）14：00～15：00
 会場：横浜美術館 円形フォーラム、コレクション展示室
 定員：60名 ※当日12：00より総合案内で整理券配布（お一人様1枚、先着順）
 参加費：無料（当日有効の観覧券と整理券が必要です）

○学芸員やエドゥケーターによるギャラリートーク

日時：2018年4月13日（金）、5月11日（金）、5月25日（金）、6月8日（金）、6月22日（金）
 いずれも14：00～14：30 会場：コレクション展示室 参加費：無料（事前申込不要、当日有効の観覧券が必要です）



下村観山《ナイト・エラント(ミレイの模写)》
 1904年 紙本着色、額 101.0×75.0cm
 原範行氏・原會津子氏寄贈



佐々木豊《裸体と衣裳》1993年
 油彩、カンヴァス 130.3×162.1cm 作家寄贈

基本情報-----

横浜美術館コレクション展 2018年3月24日（土）ー2018年6月24日（日）

「コレクションをつくる。未来へつなぐー近年の収蔵品より」 「人を描くー日本の絵画を中心に」

会場 横浜美術館（〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1）
 TEL：045-221-0300 FAX：045-221-0317 <http://yokohama.art.museum/>
 開館時間 10：00～18：00 *5月11日（金）、6月8日（金）は20：30まで（入館は閉館の30分前まで）
 休館日 木曜日、5月7日（月）*ただし5月3日（木・祝）は開館
 主催 横浜美術館
 観覧料 一般500(400)円 大学・高校生 300(240)円 中学生 100(80)円 ※小学生以下無料
 *（ ）内は有料 20名以上の団体料金（要事前予約） *障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料
 *毎週土曜日は、高校生以下無料（生徒手帳、学生証をご提示ください）
 *企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます
 *毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料（「濱ともカード」をご提示ください）

吉田千鶴子《夜半の雪》1991年
 亜鉛凸版、木版 102.0×42.0cm 作家寄贈



プレスリリースお問合せ	横浜美術館 広報担当（鈴木、藤井、 ^{かいと} 堀内、山崎） 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel: 045-221-0319 Fax: 045-221-0317 Email: pr-yma@yaf.or.jp
-------------	--